

町の基幹産業である農業の振興策を示せ

宇津木 治宣 議員



Q 我が国の食糧と農業は、危機に直面している。「品目横断的経営安定対策」は、経費を下回る麦代金、少ない交付金の支払いの遅れなどで、初年度から暗礁に乗り上げている。意欲のある農家が経営

を続けられ、農地を荒廃から守るために、町独自の施策を図れ。

A 町長 交付金の早期支払い、申請手続き

Q 『町の発展は、各地域の活性化から』の

発想のもと、地域づくり補助金交付制度を設け、支援してはどうか。

A 町長 各地区の活性化が玉村町の発展につながる。高まる地区への期待

に応えるためには、今後とも各地区が元気であることが必要。区長会などの意向も聞き、当町にふさわしい地

域づくり支援制度を研究していく。

Q 東毛広域幹線道路の全線開通が視野に入った。玉村町としての沿線開発構想は。

A 町長 都市計画マスタープランに、当該

箇所北側が工業ゾーンとして位置づけられている。隣接する高崎市と協議・調整を重ね、具体的な方向性を見出していく。

Q 田園地帯が広がる町において、農業用

機械などの幹線利用については。

A 町長 東毛広域幹線道路沿線は、優良農地が存在している。農業用

機械での往来については、耕作者の皆様に不便をかけるが、交通安全上、信号機が設置される主要交差点の利用をお願いしたい。

Q スマートインターチェンジの平成23年度供用開始に伴い、国道354号から町道224号線への通行が増えると予想され

る。国道354号の上新田地区内に信号機が必要と思

A 町長 信号機設置については、平成23年度に限らず、その必要性を公安委員会へ要望したい。

Q よ。町長 本年5月に、実務者レベルで「玉村町地産地消推進協議会」を立ち上げた。本協議会には、学校給食関係者や農業委員も含まれ、課題や提言に対して、自由な発想で議論をしている。最終的には「玉村町地産地消推進計画」を策定したい。

先日行われた第1回目の

会合で、学校給食関係者から、平成19年度に給食センターで使用した生鮮野菜

子どもたちに地元農産物を！



地域活性化に向けて

川端 宏和 議員



に込めるためには、今後とも各地区が元気であることが必要。区長会などの意向も聞き、当町にふさわしい地

域づくり支援制度を研究していく。

東毛広域幹線道路の全線開通が視野に入った。玉村町としての沿線開発構想は。

スマートインターチェンジの平成23年度供用開始に伴い、国道354号から町道224号線への通行が増えると予想され



スマートインターチェンジ 予定地

幼稚園などの保育料を減額せよ 「ありがとう運動」を推進せよ

町田 むねひろ 議員



Q 町長は、10年後の玉村町をどのような町にしたいと考えているか。玉村町の将来像について聞こう。

A 町長 子供達にとつて、住み良い町にしたい。

Q 私は、きれいな水が流れる緑豊かな田園都市、群馬県立女子大を中心とした学園都市としたい。

Q 町長 私は、子供達が期待する町づくりをしたいと考えている。最近物価が高騰し、子育て中の家庭では経済的に大変苦労をしている。町長は、常々「子供を育てるなら玉村町」、「玉村町の財政状況はよい」と言っている。この際、幼稚園の保育料を現在の半額に、保育所の保育料を群馬県下で最低レベルの保育料とせよ。

A 町長 私は、平成18年度に立ち上げた使用料等検討委員会で検討する。

Q 大きな成果をあげつつある「あいさつ・声かけ運動」と併行して、町民が感謝の心をもって生きていくように「ありがとう運動」を推進したらどうか。

A 町長 平成18年度に立ち上げた使用料等検討委員会で検討する。

Q 教育長 今の社会は、個人主義とか、人間関係が希薄だと言われている。「ありがとう」という言葉は、人に感謝の意

寄付条例と介護ボランティア・ポイント制の導入を

寺田 純子 議員



Q 寄付条例とは、ふるさと納税法を活用し、全国から寄付を募り、それを財源に施策を実現するものである。当町での実施について聞こう。

A 町長 町には「玉村町寄付取扱規程」があるが、この規程は一般寄付を受け入れるためのものである。今後、関係各課と協議を行い、「ふるさと納税」

Q 高年齢社会において、介護支援ボランティア・ポイント制度の導入で、元気な高齢者の地域貢献を推進せよ。

A 町長 玉村町における高齢化率は、平成20年4月現在で14%である。県内で最も低い状況だが、高齢者対策は急務と考えている。

Q この制度は、高齢者が介護支援ボランティア活動を

A 町長 玉村町において、高齢者が数多く地域社会に戻ってくる。そのような中で、本制度を活用することは、注目すべきことと考えている。

Q 今後の、団塊の世代など、豊富な経験を持った元気な高齢者が数多く地域社会に戻ってくる。そのような中で、本制度を活用することは、注目すべきことと考えている。

A 町長 玉村町において、高齢者が数多く地域社会に戻ってくる。そのような中で、本制度を活用することは、注目すべきことと考えている。

Q 高年齢社会において、介護支援ボランティア・ポイント制度の導入で、元気な高齢者の地域貢献を推進せよ。

A 町長 玉村町において、高齢者が数多く地域社会に戻ってくる。そのような中で、本制度を活用することは、注目すべきことと考えている。

Q 今後の、団塊の世代など、豊富な経験を持った元気な高齢者が数多く地域社会に戻ってくる。そのような中で、本制度を活用することは、注目すべきことと考えている。

A 町長 玉村町において、高齢者が数多く地域社会に戻ってくる。そのような中で、本制度を活用することは、注目すべきことと考えている。

点や課題などを精査しつつ、調査・研究を進めていく。



を表し、人間社会を構築する上で、なくてはならない言葉である。ぜひ、「あいさつ運動」とともに、青年はもちろん、町民全体に広めていきたい。



県内の公立幼稚園 保育料

(H19.10.1調査)

- ・玉村町：5,000円
- ・高山村：1,000円
- ・長野原町：2,000円
- ・嬭恋村：2,000円
- ・東吾妻町：2,000円